

リスト名称：人口面情報(福島第一)

区分	項番	行政集落名	行政集落名(かな)
1	1	双葉町浜野	ふたばまちはまの
1	2	双葉町郡山	ふたばまちこおりやま
1	3	双葉町下条	ふたばまちげじょう
1	4	双葉町新山	ふたばまちしんざん
1	5	双葉町山田	ふたばまちやまだ
1	6	双葉町細谷	ふたばまちほそや
1	7	大熊町夫沢2区	おおくままちおつとざわ2く
1	8	大熊町夫沢3区	おおくままちおつとざわ3く
1	9	大熊町夫沢1区	おおくままちおつとざわ1く
1	10	大熊町大和久区	おおくままちおおわくく
1	11	大熊町小入野区	おおくままちこいりのく
合計			

3km以上の

地区多

総数 20:00

3k

平成20:00 (3頁)

リスト名称：人口面情報(福島第一)

区分	項番	行政集落名	行政集落名(かな)
1	1	浪江町藤橋	なみえまちふじはし
1	2	浪江町北柵塩	なみえまちきたたなしお
1	3	浪江町酒田	なみえまちさかた
1	4	浪江町北幾世橋	なみえまちきたきよはし
1	5	浪江町西台	なみえまちにしだい
1	6	浪江町加倉	なみえまちかくら
1	7	浪江町南柵塩	なみえまちなみなたなしお
1	8	浪江町佐屋前	なみえまちさやまえ
1	9	浪江町4区	なみえまち4く
1	10	浪江町川添北	なみえまちかわぞえきた
1	11	浪江町3区	なみえまち3く
1	12	浪江町幾世橋	なみえまちきよはし
1	13	浪江町1区	なみえまち1く
1	14	浪江町2区	なみえまち2く
1	15	浪江町上ノ原	なみえまちうえのはら
1	16	浪江町8区	なみえまち8く
1	17	浪江町川添南	なみえまちかわぞえみなみ
1	18	浪江町田尻	なみえまちたじり
1	19	浪江町7区	なみえまち7く
1	20	浪江町5区	なみえまち5く
1	21	浪江町6区	なみえまち6く
1	22	浪江町穂渡牛渡	なみえまちはわたしうしわた
1	23	浪江町高瀬	なみえまちはかせ
1	24	浪江町請戸	なみえまちはうけど
1	25	浪江町小野田	なみえまちはおのだ
1	26	浪江町酒井	なみえまちはさかい
1	27	浪江町谷津田	なみえまちはやつだ
1	28	浪江町大塚	なみえまちはおほぼり
1	29	双葉町鴻草	ふたばまちはこうのくさ
1	30	双葉町中田	ふたばまちなかた
1	31	双葉町浅川	ふたばまちはしづかわ
1	32	浪江町井手	なみえまちはいで
1	33	浪江町両竹	なみえまちはもろたけ
1	34	浪江町中浜	なみえまちなかはま
1	35	双葉町寺松	ふたばまちはてらまつ

10km以内の
地区を

リスト名称：人口面情報(福島第一)

区分	項番	行政集落名	行政集落名(かな)
1	71	富岡町高津戸	とみおおかまちたかつと
1	72	富岡町夜の森駅前北	とみおおかまよのもりえきまえきた
1	73	富岡町下千里	とみおおかましもせんり
1	74	富岡町夜の森駅前南	とみおおかまよのもりえきまえみなみ
1	75	富岡町深谷	とみおおかまふかや
1	76	富岡町新町	とみおおかましんまち
1	77	富岡町玉塚	とみおおかまおうつか
1	78	富岡町上本町	とみおおかまかみもとまち
1	79	富岡町小浜	とみおおかまこばま
1	80	大熊町大野2区	おおくままちおおの2く
1	81	双葉町下長塚	ふたばまちしもながづか
1	82	富岡町本町	とみおおかまもとまち
1	83	富岡町中央	とみおおかまちゅうおう
1	84	富岡町仏浜	とみおおかまほとけはま
1	85	富岡町駅前	とみおおかまえきまえ
1	86	富岡町西原	とみおおかまにしはら
1	87	富岡町清水	とみおおかましみず
1	88	富岡町栄町	とみおおかまさかえまち
1		合計	

リスト名称：人口面情報 (福島第一)

区分	項番	行政集落名	行政集落名 (かな)
1	36	双葉町両竹	ふたばまちもろたけ
1	37	双葉町長塚	ふたばまちながつか
1	38	双葉町羽島	ふたばまちはと
1	39	双葉町浜野	ふたばまちはまの
1	40	双葉町郡山	ふたばまちこおりやま
1	41	双葉町下桑	ふたばまちげじょう
1	42	双葉町新山	ふたばまちしんざん
1	43	双葉町石熊	ふたばまちはいしくま
1	44	双葉町三字	ふたばまちさんあざ
1	45	双葉町山田	ふたばまちやまだ
1	46	双葉町細谷	ふたばまちはそや
1	47	大熊町夫沢2区	おおくままちおつとざわ2く
1	48	大熊町夫沢1区	おおくままちおつとざわ1く
1	49	大熊町夫沢3区	おおくままちおつとざわ3く
1	50	大熊町下野上1区	おおくままちしものがみ1く
1	51	大熊町夫沢1区	おおくままちおつとざわ1く
1	52	大熊町野上2区	おおくままちおつとざわ2く
1	53	大熊町下野上2区	おおくままちしものがみ2く
1	54	大熊町大野1区	おおくままちおおの1く
1	55	大熊町大和久区	おおくままちおおわくく
1	56	大熊町小入野区	おおくままちこいりのく
1	57	大熊町熊2区	おおくままちくま2く
1	58	大熊町下野上3区	おおくままちしものがみ3く
1	59	大熊町熊1区	おおくままちくま1く
1	60	大熊町熊3区	おおくままちくま3く
1	61	大熊町大川原2区	おおくままちおおがわら2く
1	62	大熊町野馬形区	おおくままちおおがた
1	63	大熊町大川原1区	おおくままちおおがわら1く
1	64	大熊町熊川区	おおくままちくまかわく
1	65	大熊町町区	おおくままちまちく
1	66	富岡町杉内	とみおかまちすぎうち
1	67	富岡町大菅	とみおかまちおおすげ
1	68	富岡町仲町	とみおかまちなかまち
1	69	富岡町小良ヶ浜	とみおかまちはらがはま
1	70	富岡町新夜ノ森	とみおかまちなよのもり

経産省 9010

22:10現在

(3頁)

- 14:46 地震発生 → 直ちに対策本部設置
14:50 院長官邸参集 (随行 甲斐さん)
- ① 女川 (震度6強) 1, 2, 3 スクラム停止 (567.5gal スクラム成功MP異常なし dg 起動中)
 - ② 東通 (震度5強) 定検停止中 (スクラム成功DG A起動)
 - ③ 1F1, 2, 3 (6強) スクラム停止 4, 5, 6 定検停止中 (MP異常なし ECCS起動なし)
 - ④ 2F (震度6強) 1~4 スクラム停止 (MP異常なし ECCS起動なし)
 - ⑤ 東海第2 (震度6弱) 自動スクラム停止 (RCICで水位確保HPCS起動)
 - ⑥ KK (震度4) 1, 5, 7 運転継続中 2, 3, 4 定検停止中
 - ⑦ 六ヶ所 (震度5強) 非常用dgで電力供給中
 - ⑧ 泊 (震度3) 1, 2, 3 継続運転中
 - ⑨ 浜岡 3 定検停止中 4, 5 継続運転中 プールの溢水なし
 - ⑩ GNF-J 地震に伴い停電発生 (dgは正常に稼働) MP異常なし
- 14:55 官房総務課に院長参集とERC立ち上げ連絡
15:15 モバイル保安院 配信予定 (同じ文書でプレス)
15:16 モバイル保安院 発出
- 女川津波 10m (敷地高15m)
- 15:15 プレス会見 (中村審議官)
16:30 次回プレス会見予定@第4特別会議室
15:42 1F (1, 2, 3) DGトリップ (10条事象) 注:事務所情報
18:00 政府調査団機 市谷から飛ぶ予定 (官邸甲斐さんより) →搭乗について検討
- 依頼
- 15:50 事業者より1F, 2FのDG不調との連絡あり
15:42 10条通報 (事業者より連絡あり) 1F6 Bのみ起動あとは起動していない (1F 1~5 全交流電源喪失 ちなみに4, 5は定検停止中)
15:42 警戒本部設置 (現地警戒本部も同時立ち上げ)
16:02 福島OFC停電 DG立ち上がりず ERSSも伝送できず
16:04 2F 外部電源OK
16:05 三菱原子燃料 ポリ容器に焦げ見つかる。(16:09 消火)
16:10 1F1~3 RCICで注水中 (8時間程度もつ)
16:13 2F 1, 2 RCIC注水中 3 水位十分のため停止中 4 HPCS 2で注入中
16:03 プレスへ10条通報あった旨連絡
16:20 官邸リエゾンに追加派遣 (保安課 高橋)
16:30 福島への派遣者決定 (黒木審議官、山本課長、石垣室長)

16:45 事業者より1F-1, 2について15条通報あり(事象発生判断 16:36)

17:30 現地派遣組 震が関出発

17:05 産業保安 政府調査団出発(17:54 市谷集合)

17:30 保安院は15条事態と判断 上申プロセスに入った

17:40 1F 4 重油タンク脇火災発生

17:45 プレス第3報 発出

18:15 ERC内会議(事象進展について)

18:22 海江田大臣→総理大臣上申 結論に至らず(もう少し情報収集して判断すること) 従って対策本部開始も未定

18:25 自衛隊機1F電源車到着(到着時間は不明)電源車 1号機メタクラに接続作業中(最低1時間かかるとのこと)(計6台要請中)

18:30 全閣僚を対象と閣僚会議開催(官邸4階大会議室)

18:38 17:35に2F-1 10条判断との情報あり

18:33 2F-1, 2, 4 10条通報(原子炉除熱機能喪失)

18:48 17:15 女川1号機タービン建屋地下1階発煙→自衛消防CO2で消火

18:50 電源車もう1台が到着予定

19:13 プレス会見

19:30 ERC内にて情報共有会議(予定)

20:15 プレス会見(第5報)

(負傷者情報 被ばく者なし 負傷者(JAEA再処理 1名けが、赤チン程度 その他日本原燃、NFI、GNF、東海第二、浜岡 けが人なし)

19:03~22 官邸で対策会議開催

19:03 緊急事態宣言発出(政府対策本部、現地対策本部設置)

19:20 電源車手配状況 水戸みがわ中 高圧1台、低圧1台 大宮駐屯地 低圧3台(ヘリでは無理。水戸にあるものを陸送、パトカーに先導依頼予定←20:30 情報)、ゆう柿 明和記念公園 高圧2台 低圧4台(待機状況確認中)

19:46 官房長官会見

19:50 電源車はまだ未到着との連絡が事業者からあり

20:30 副大臣ほか 市谷到着

20:35 「1F-2 RCI C停止 → 東電が住民避難検討開始」の連絡受け

20:50 福島県が発電所半径2kmの住民に避難指示との情報あり

20:55 池田副大臣 防衛省(市谷) 出発21:50 大滝根分屯基地(福島県双葉郡)に到着予定、陸路にて1Fに向かう(直線距離で20km) 予定

21:03 現地にヘリ到着(池田副大臣、)

21:05 東北電力の電源車が福島 OFC に到着→発電所を優先させるよう指示

- 21:16 県より連絡(避難対象 1864名)
- 21:20 ERC打合せ(プラント情報説明)
- 21:20 福島OFCバッテリー切れ 隣接の福島県原子力センターに移動
- 21:25 福島県立医科大学附属病院に被ばく患者が発生した場合の受け入れを要請
- 21:27 官邸より連絡(総理による避難命令 周辺3kmで避難 指示文作成すること)
- 21:30頃 放射線医学総合研究所被ばく患者受け入れ体制整備済み
- 21:41 安全委員会とのTV会議終了
- 21:45 プレス(21:30時点情報)
- 21:53 官房長官会見開始
- 21:54 1F-2 水位計復帰し、水位がL2であることを確認
- 21:05 東北電力から福島OFCに電源車到着
- 21:09 東北電力から2台めの電源車到着

左

経産 22:35

別紙

○東京電力(株)福島第一原子力発電所1号機から半径3km圏内の地域

大熊町

夫沢一区、夫沢二区、夫沢三区、大和久区及び小入野区

双葉町

浜野、郡山、下条、新山、山田及び細谷

○東京電力(株)福島第一原子力発電所1号機から半径10km圏内の地域

大熊町

夫沢一区、夫沢二区、夫沢三区、大和久区、小入野区、野上一区、野上二区、
下野上一区、下野上二区、下野上三区、大野一区、大野二区、熊一区、熊二区、
熊三区、大川原一区、大川原二区、野馬形区、熊川区及び町区

双葉町

浜野、郡山、下条、新山、山田、細谷、下長塚、鴻草、中田、渋川、寺松、両竹、
長塚、羽鳥、石熊、三字、

浪江町

一区、二区、三区、四区、五区、六区、七区、八区、藤橋、北棚塩、酒田、北幾世橋、
西台、加倉、南棚塩、佐屋前、川添北、幾世橋、上ノ原、川添南、田尻、樋渡牛渡、
高瀬、請戸、小野田、酒井、谷津田、大堀、井手、両竹及び中浜

富岡町

杉内、大菅、仲町、小良ヶ浜、新夜ノ森、高津戸、夜の森駅前北、夜の森駅前南、
下千里、深谷、新町、王塚、上本町、小浜、本町、中央、仏浜、駅前、西原、
清水及び栄町

東京電力 福島第一原子力発電所 1号機

現在時刻 18時10分29秒

経産 22:45

プラント時刻
2011年03月11日 14時46分

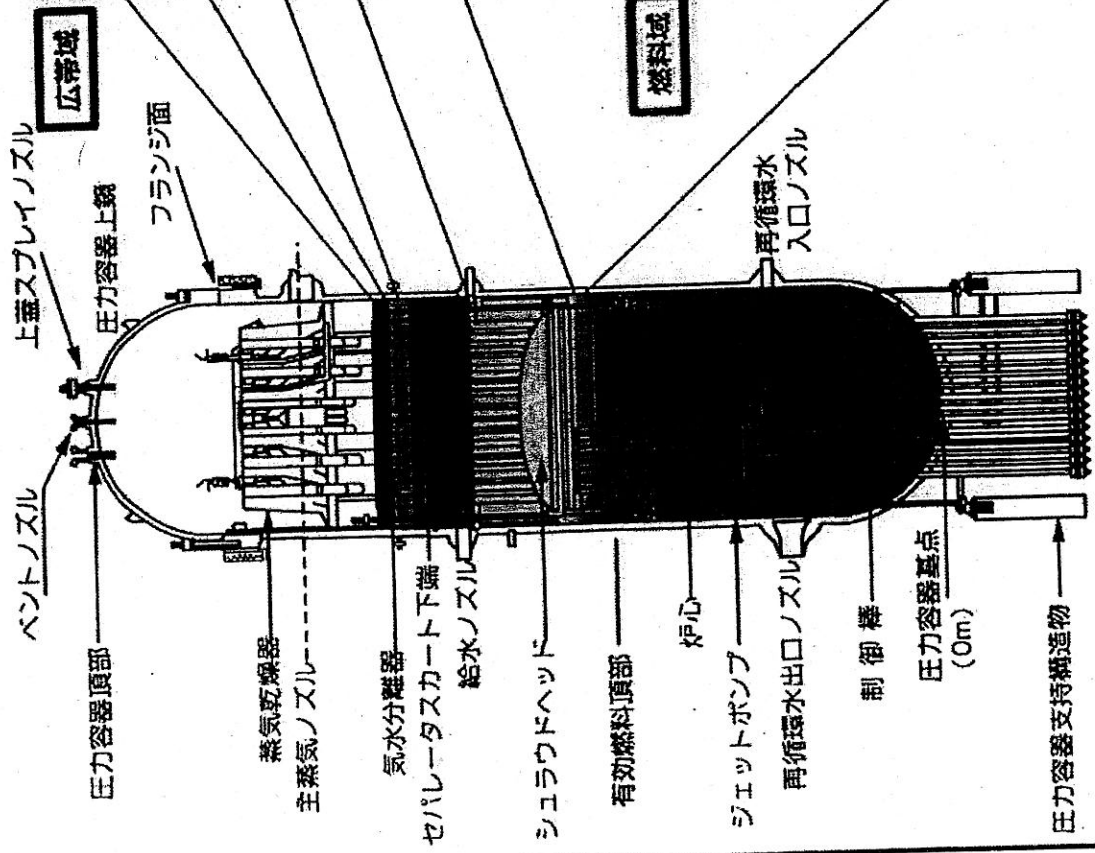
発電所サマリ エニット情報 環境モニタ 通報連絡情報 トレンドグラフ パラメータリスト 時系列 支援情報 警報サマリ

発電所サマリ 支援情報(1)

1号機 2号機 3号機 4号機 5号機 6号機

主要機器仕様 炉水位設定値 圧力設定値

概略系統図



L-8	1213mm	L-8	1483mm	L-8	1485mm	L-8	1485mm	L-8	1485mm	L-8	1400mm
通常水位	940mm	通常水位	1157mm	通常水位	1157mm	通常水位	1157mm	通常水位	1157mm	通常水位	914mm
L-3	163mm	L-3	275mm	L-3	275mm	L-3	275mm	L-3	275mm	L-3	318mm
L-L	-1480mm	L-2	-1220mm	L-2	-1220mm	L-2	-1220mm	L-2	-1220mm	L-2	-969mm
水位計下限	-1500mm	L-1	-3720mm	L-1	-3720mm	L-1	-3720mm	L-1	-3720mm	L-1	-3780mm
		水位計下限	-4000mm	水位計下限	-3900mm	水位計下限	-3900mm	水位計下限	-3900mm	水位計下限	-3800mm

水位計上限	5000mm	水位計上限	5000mm	水位計上限	5000mm	水位計上限	5000mm	水位計上限	1300mm
L-L	1950mm	L-2	2950mm	L-2	2950mm	L-2	2950mm	L-2	411mm
有効燃料頂部	0mm	L-1	450mm	L-1	450mm	L-1	450mm	L-1	0mm
水位計下限	-3000mm	有効燃料頂部	0mm	有効燃料頂部	0mm	有効燃料頂部	0mm	有効燃料頂部	0mm
		水位計下限	-3700mm	水位計下限	-3700mm	水位計下限	-3700mm	水位計下限	-3800mm

取扱注意



平成23年3月11日22:00
プラント班

福島第一2号機の今後の進展について

プラント解析予測システム（ERSS）により今後のプラント状況について保守的に評価した結果は、以下のとおり。

- (実績) 14:47 原子炉スクラム（RCIC¹起動）
- (実績) 20:30 RCIC停止（原子炉への注水機能喪失）
- (実績) 21:50 水位計復活（L2：燃料上部より約3mの水位）
- (予測) 22:50 炉心露出
- (予測) 23:50 燃料被覆管破損
- (予測) 24:50 燃料溶融
- (予測) 27:20 原子炉格納容器設計最高圧（527.6KPa）到達。

原子炉格納容器ベント¹¹により放射性物質の放出

放出される放射性物質の量は、解析中。

¹ RCIC（原子炉隔離時冷却系）：RCICポンプは、原子炉からの蒸気を駆動源として、弁で蒸気を制御しながら原子炉への注水する系統（水源は、復水貯蔵タンク）

¹¹ 原子炉格納容器ベント：原子炉格納容器の破損を防ぐため圧力を軽減させる措置。（具体的には、原子炉格納容器からの圧力を主排気筒から放出する）

た

保安院

SPEEDI 計算結果の補足

- ① 現在の風は西～北西の風であり、明日の昼ころまで続く見込み
- ② 今のところ、明日深夜 3:30 前後に格納容器圧力が危険な状態に至るおそれあり
- ③ その時点で、格納容器の圧力による破損を防ぐため、放射性物質を意図的に放出させる (ベント) 計画
- ④ ベントの放出量が不明なため、非常に過大な放出条件である仮想事故放出量が1時間で放出するとの想定をした場合の SPEEDI 計算を実施
- ⑤ これによると、影響範囲は沿岸から離れた海側のみの影響
- ⑥ 急激な気象変化がない限り陸側の住民への被ばく影響は考えられない
- ⑦ 仮想事故放出量を想定しても、外部被ばくの影響は最大2ミリシーベルトであり、外部被ばくの影響は小さい
- ⑧ 内部被ばく (甲状腺等価線量) の影響は、仮想事故放出量では最大190ミリシーベルトであり、避難の指標である500ミリシーベルトには至らないが、屋内退避の指標100ミリシーベルトの指標は超える
- ⑨ 防護対策としては、放射性物質の吸入による内部被ばくの防止が重要なので、しゃへいよりも気密性の確保が重要。

風下の最大値

左

経産 22:59
(2頁)

ERC 医療班状況報告⑥

平成23年3月11日 22時45分時点 (下線が更新情報)

【患者状況】

1. 被ばく患者の措置状況:

福島第一: 不明

福島第二: 無し

2. その他負傷者情報

○福島第一: 社員2名 (軽傷)

協力会社2名 (うち1名両足骨折)

行方不明2名 (4号タービン建屋内)

○JAEA 東海再処理施設: 1名けが

事故発生場所: 再処理 UC 玄関。

事故概要: 発生時間 17:28

負傷状況: 左コメカミ、赤チン程度

○日本原燃 (株) 再処理施設: けが人なし

○原子燃料工業 (株) 東海事業所: けが人なし

○GNF: けが人なし

○東海第二発電所 (?): けが人なし → 3名軽傷

発生場所: 煙突に宙づり

負傷状況: 軽傷 (救助され病院搬送 → 帰宅中)

○浜岡原子力発電所: けが人なし

○女川原子力発電所: 1名けが (協力会社)

負傷状況: 落下物で足に血のにじみ程度

【医療機関の被ばく患者受入状況】

21:25頃 福島県立医科大学付属病院 (二次被ばく医療機関) に被ばく患者発生時の患者受入を要請 → 体制整備済。

21:30頃 放射線医学総合研究所 (三次被ばく医療機関) 被ばく患者受入体制整備済。

22:30頃 今村病院 (一次被ばく医療機関) 現時点で受入不能。
福島県厚生農業協同組合連合会双葉厚生病院 (一次被ば

〈医療機関〉現時点で受入不能。

【安定ヨウ素剤の状況】

県対策本部にヨウ素安定剤の備蓄場所と量を照会中。

【救護所の設置状況】

2

表

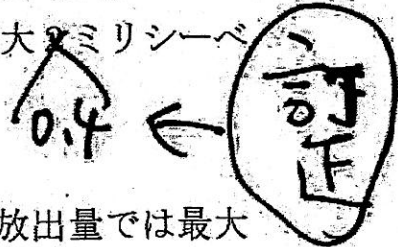
2号機

数値訂正

保健院

SPEEDI 計算結果の補足

- ① 現在の風は西～北西の風であり、明日の昼ころまで続く見込み
- ② 今のところ、明日深夜 3:30 前後に格納容器圧力が危険な状態に至るおそれあり
- ③ その時点で、格納容器の圧力による破損を防ぐため、放射性物質を意図的に放出させる (ベント) 計画
- ④ ベントの放出量が不明なため、非常に過大な放出条件である仮想事故放出量が1時間で放出するとの想定をした場合の SPEEDI 計算を実施
- ⑤ これによると、影響範囲は沿岸から離れた海側のみの影響
- ⑥ 急激な気象変化がない限り陸側の住民への被ばく影響は考えられない
- ⑦ 仮想事故放出量を想定しても、外部被ばくの影響は最大 0.4 ミリシーベルトであり、外部被ばくの影響は小さい
- ⑧ 内部被ばく (甲状腺等価線量) の影響は、仮想事故放出量では最大 190 ミリシーベルトであり、避難の指標である 500 ミリシーベルトには至らないが、屋内退避の指標 100 ミリシーベルトの指標は超える
- ⑨ 防護対策としては、放射性物質の吸入による内部被ばくの防止が重要なので、しゃへいよりも気密性の確保が重要。



風下の最大値

経産 90/10

23:12現在 (3頁)

- 14:46 地震発生 → 直ちに対策本部設置
14:50 院長官邸参集 (随行 甲斐さん)
- ① 女川 (震度6強) 1, 2, 3 スクラム停止 (567.5gal スクラム成功MP異常なしdg起動中)
 - ② 東通 (震度5強) 定検停止中 (スクラム成功DG A起動)
 - ③ 1F1, 2, 3 (6強) スクラム停止 4, 5, 6 定検停止中 (MP異常なし ECCS起動なし)
 - ④ 2F (震度6強) 1~4 スクラム停止 (MP異常なし ECCS起動なし)
 - ⑤ 東海第2 (震度6弱) 自動スクラム停止 (RCICで水位確保HPCS起動)
 - ⑥ KK (震度4) 1, 5, 7 運転継続中 2, 3, 4 定検停止中
 - ⑦ 六ヶ所 (震度5強) 非常用dgで電力供給中
 - ⑧ 泊 (震度3) 1, 2, 3 継続運転中
 - ⑨ 浜岡 3 定検停止中 4, 5 継続運転中 プールの溢水なし
 - ⑩ GNF-J 地震に伴い停電発生 (dgは正常に稼働) MP異常なし
- 14:55 官房総務課に院長参集とERC立ち上げ連絡
15:15 モバイル保安院 配信予定 (同じ文書でプレス)
15:16 モバイル保安院 発出
女川津波 10m (敷地高15m)
15:15 プレス会見 (中村審議官)
16:30 次回プレス会見予定@第4特別会議室
15:42 1F (1, 2, 3) DGトリップ (10条事象) 注: 事務所情報
18:00 政府調査団機 市谷から飛ぶ予定 (官邸甲斐さんより) → 搭乗について検討
依頼
- 15:50 事業者より1F, 2FのDG不調との連絡あり
 - 15:42 10条通報 (事業者より連絡あり) 1F6 Bのみ起動あとは起動していない (1F 1~5 全交流電源喪失 ちなみに4, 5は定検停止中)
 - 15:42 警戒本部設置 (現地警戒本部も同時立ち上げ)
 - 16:02 福島OFC停電 DG立ち上がらず ERSSも伝送できず
 - 16:04 2F 外部電源OK
 - 16:05 三菱原子燃料 ポリ容器に焦げ見つかる。(16:09 消火)
 - 16:10 1F1~3 RCICで注水中 (8時間程度もつ)
 - 16:13 2F 1, 2 RCIC注水中 3 水位十分のため停止中 4 HPSCS 2で注入中
 - 16:03 プレスへ10条通報あった旨連絡
 - 16:20 官邸リエゾンに追加派遣 (保安課 高橋)
 - 16:30 福島への派遣者決定 (黒木審議官、山本課長、石垣室長)